

問題番号	経由団体	問題点	問題点の内容	状況	要望	準拠法
1. 外資への諸規制・障壁（参入規制、撤退規制、優遇政策縮小、利益回収等）						
1	自動部品	技術援助契約に基づく支援料の未回収のリスク	・ 図面代はロイヤリティに含まれるとされ、費用回収ができないリスクがある。 また、出張支援に際する不在補償料なども同様に、回収できないリスクがある。	継続	・ 他社はどうされているのか、可能な範囲で情報共有いただきたい。	・ FE Manual 2022
2. 輸出入規制・関税・通関規制・物流						
1	日鉄連	調整関税引き上げ	・ 2015年12月1日、歳入不足に伴い、輸入贅沢品に対し調整関税※（Regulatory Duty）の引き上げを実施し、一部鉄鋼製品が従来の税率から調整関税が引き上げられた。 2021年7月、熱延薄板とステンレス鋼板の輸入関税撤廃。	継続	・ 調整関税の引き下げ・撤廃。	
2	日鉄連	EXTRA DUTY 賦課	・ 1995年9月29日、金融引き締め政策の一環として、USANCE付L/Cでの輸入にはCIF価格の6%のEXTRA DUTY(SOURCE UTILIZATION SUPPORT FUND)が賦課。98年には税率が6%から3%に変更され、2007年も3%適用。	継続	・ 制度の撤廃。	
3	医機連	FTAオリジナル書類の送付	・ FTAオリジナル書類の送付が必要。輸送金額、供給リードタイムの調整業務が発生。	継続	・ 電子化（PDF）→日本と同ルール化。	
4	医機連	頻繁な小売価格規制変更によるラベル表示対応の負担	・ MRP情報（小売価格規制）の変更が相次ぎ、都度内容変更による対応に追われ、業務に支障が生じている。自由貿易の妨げに発展。	継続	・ 規制廃止。	
5	医機連	サンプル品の輸入規制	・ サンプル品の輸入について、金額制限が設けられUSD5以上の場合、税関での検査が必要。	継続	・ サンプル品輸入の規制を緩和。	
6	自動部品	外貨準備高不足による輸入制限	・ パキスタンの外貨準備高不足から、部品の輸入が制限され、現地の生産ラインが止まってしまうリスクがある。 規制は緩和されつつあるというものの、実態は取引銀行によるところが多分にあり、制限は継続している。	継続	・ 他社の状況について情報共有いただきたい。	・ パキスタン中央銀行の通達
7	日機輸	自動車部品の輸入制限	・ 自動車政策による輸出ターゲットが達成されなかったことを理由として政府が2023年10月以降の部品輸入を認めない事態が発生。2023年12月まで暫定延長された後、さらなる更新が認められていない。	新規	・ 大使館・民間レベルで協議中なるも甚大な影響があるため輸出ターゲットを起因とした輸入規制の撤廃を期待する。	
8	日鉄連	輸入QUOTA制	・ 1998年7月24日、輸入抑制のため、HRC、厚板/中板でそれぞれ45万トン、CRC/SHEETで10万トンの免税枠を設置。需要家が過去実績、能力に基づき通商省に枠を申請し許可される。枠外のEU以外からの輸入はHRC、厚板/中板で22.5%、CRC/SHEETで30%。価格上昇、需給タイトにより実害が少なくなったため、近年適用されておらず、2006年に半国営ミルErdemirの完全民営化が実施され、今後も適用しない可能性が大きい。	新規		
9	医機連	輸入品の再輸出不可	・ 一度輸入した製品の再輸出が認められず、地域内での在庫転送が不可。	継続	・ 自由な貿易実現の為、規制廃止。	
4. 為替管理・金融						
1	電機工	外貨送金規制	・ お客様所在国（例えばアルゼンチン、パキスタン）の外貨準備不足で、その国の中央銀行が外貨支出を厳しく規制するため、お客様との取引が阻害される状況が散見される。	新規	・ 少額案件であっても第三国通貨での支払いが困難、クレジットカード決済を要求されたこともあるが、具体的な解決策は見いだせず。	
2	日機輸	外貨送金の制限	・ 2023年6月に外貨送金規制は撤廃されたが、各商業銀行の外貨不足により輸入決済におけるL/C開設の遅れ等、パキスタン企業向け輸出取引が滞る事象	新規	・ 経済活動・投資に大きく影響するため改善をお願いしたい。	

※経由団体：各団体の意見がどの団体を経由して提出されたかを表したものであり、表示団体を代表する「主張」「総意」等を意味するものではありません。

問題番号	経由団体	問題点	問題点の内容	状況	要望	準拠法
			が依然残っている。 配当金、通関を伴わないサービス費用の送金も順次古いものから送金が許可されはじめているが遅延が発生しており、解決していない。			
3	自動部品	株券電子化手続きの長期化	・パキスタン出資先の株券を電子化する手続を行っている。通常2か月ほどで完了すると聞いていたが、すでに10か月が経過しているが、完了していない。 必要書類の記載内容を含め事前確認を行った上で提出するものの、1か月以上経過してから追加書類、修正要請などの連絡が来る状況。	新規	・他社の状況について情報共有いただきたい。	・CDC (Central Depository Company of Pakistan Limited : 証券振替機関)
4	医機連	政府による政府病院等に対する診療報酬の支払遅延	・政府による病院に対する診療報酬の支払い遅延が発生している。	継続	・支払の早期化、期日での支払。	
5. 税制						
1	日機輸	税制の頻繁な変更	・自動車関連税制が頻繁に変更され、先の計画が立てにくい。(FSが困難) (カラチ)	継続	・中長期的な明確・具体的な自動車産業振興政策の策定。	
2	日機輸	免税措置の未実施、税還付の遅延	・該社・該社は10年間法人税無税の恩典を認可されているが、原材料輸入時と製品販売時に前払い法人税を源泉されている。2021年の法整備により免税措置が明確化され、支払済分も順次還付も進んでいたが、2022年より法人税の一種である売上高税(売上×1.25%)の免除が一時的に撤回され、深刻な問題となっている。	変更	・速やかに売上高税の税免税措置を再開すると共に、既に支払済の前払い法人税を還付頂きたい。	・Special Economic Zones Act, 2012, 126E項
9. 工業規格・基準・安全認証						
1	医機連	医療機器規制の運用の不透明	・パキスタンの医療機器規制について運用実態が不透明な部分がある。現地代理店からの情報として、2024年から医療機器規制が適用される見通しであり、下記ウェブサイトから情報を得ようとするものの、タイムラインや詳細に関して不明確である。またリンクもダウンすることがあり、確認出来ない状態が続くことがある。(現在はアクセス可能) https://www.dra.gov.pk/	新規	・医療機器規制についてのタイムラインや詳細等について明確にして欲しい。	